

校長だより

和歌山市立八幡台小学校

2021.12.1

NO,72

朝の交通指導で

朝の交通指導での出来事です。中学年の女の子が「校長先生、さっきペットボトルのごみが落ちてたので、家に持って帰って捨ててきたよ。」と話しかけてくれました。うれしい出来事でした。先日、よく似た話をここに載せましたが、学級では子どもたちにこの話をしている様子も見られました。担任の先生との話の中で、子どもたちに「地域を進んで美しく」という気持ちがしっかりと刻まれてきていることにうれしさを感じました。言われる前に自分で判断して行動する！とても素晴らしいことです。今後、このような動きがさらに増えてくれることを願っています。

全国学力学習状況調査から②

先日別紙配布したところですが、本校児童の特徴で、やや低かった項目として「**自分にはよいところがある**」「**難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する**」といったものがあります。別紙にも書きましたが、ここに関して

<自己肯定感・自尊感情>

について少しコメントしたいと思います。この感情は、すぐに身につくというものではないでしょうが、時間がかかっても、子どもたちに身につけさせてやりたい、高めてもらいたいものだと思っています。子どもたちは家族の方が大好きです。その大好きな人たちに認められる、褒められると、自己肯定感や自尊感情は高まります。もちろん、学校では友達や先生からの言葉も大きいと思います。これは、よいことをしたから「褒められる」ということではなく、その子の存在そのものがうれしいと、あなたがいてくれることが私にとってとても大切なことなんだよと伝えてあげることから生まれてくるような気がします。いいこともそうでないことも含め、あなたの存在自体が私には大切なんだよと、あなたが大好きだよと伝えてほしいと思います。もちろん、褒めることができない言動については、叱ったり注意したりして是正させることは必要です。しかし、その存在を常に認め、大切に思っているということは伝え続けていきたいと思っています。この自己肯定感、自尊感情が醸成し、自分の中で高まってくれば、いろいろな場面で積極的に、能動的に、主体的に活動できるような子どもになり、多少のことではくじけない強さも生まれてくるといわれています。様々なところでよい循環が生まれてくるものです。こういったことを踏まえ、子どもたちに「大好きだよ！」と話しかけてくださいね！